



2024年11月13日

各 位

会 社 名 長 野 計 器 株 式 会 社  
代表者の役職名 代表取締役社長 佐藤正継  
(コード：7715、東証プライム)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 角 龍 徳 夫  
(TEL 03-3776-5333)

2025年3月期 第2四半期（中間期）連結会計期間の業績予想値と実績値の差異及び  
剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ

2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）連結業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり増配することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期中間 連結業績予想値と実績値との差異

(1) (2024年4月1日～2024年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	34,100	3,100	3,000	2,200	113円21銭
今 回 発 表 実 績 値 (B)	35,631	3,994	4,010	2,961	155円01銭
増 減 額 (B-A)	1,531	894	1,010	761	—
増 減 率 (%)	4.5	28.8	33.7	34.6	—
(参考) 前中間期 実績 (2024年3月期中間期)	34,367	3,740	4,038	2,628	137円94銭

(2) 差異の理由

当中間連結会計期間の業績は、産業機械業界向及びプロセス業界向の圧力計の売上が増加したこと及び建設機械業界向けの圧力センサの売上が増加したことに加え、為替レートが円安に推移したことによる海外子会社の円換算額の増加等の影響もあり、業績予想を上回る結果となりました。

## 2. 剰余金の配当（中間配当）について

### （1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年5月10日)	前期実績 (2024年3月期)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	24円00銭 (普通配当 22円00銭) (特別配当 2円00銭)	22円00銭 (普通配当 22円00銭)	18円00銭 (普通配当 18円00銭)
配当金総額	461百万円	—	345百万円
効力発生日	2024年11月29日	—	2023年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### （2）増配の理由

当社は、経営の効率化により収益の向上を図り、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつとしており、将来の経営基盤強化のための内部留保の充実を図りつつ業績を勘案し、配当を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。また、業績の動向によっては、普通配当に加えて、特別配当を実施することにより、株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

2025年3月期の中間配当につきましては、この基本方針を堅持しつつ、前述の1.にて公表いたしました2025年3月期中間連結会計期間の実績を勘案した結果、業績予想を上回る結果となりましたので、普通配当1株当たり22円に、特別配当として1株当たり2円を加えて24円の配当を実施することといたします。

以 上